令和5年度　特別支援教育啓発研修会

令和５年11月13日㈪　福岡市民会館大ホール
令和５年11月17日㈮～12月１日㈮　アーカイブ配信
講演：トークセッション
演題：『可能性への挑戦 』
講師：太田 愛子 氏　　太田 信介 氏
ライブペインティング：自閉症の画家 太田 宏介 氏

障がい児及び特別支援教育への正しい認識と理解を深め、福岡市小・中・特別支援学校の各ＰＴＡ会員の相互理解と交流を図る目的で特別支援教育啓発研修会が開催されました。

今回の講演では、自閉症の画家・太田宏介氏の母・太田愛子氏と「ギャラリー宏介株式会社」を起業された兄・太田信介氏のトークセッションと太田宏介氏によるライブペインティングが行われました。

障がいを受け入れ、一緒に成長していく中で感じた家族の苦悩や喜びをお話ししていただきました。

また、ステージ上にて同時進行で行われた太田宏介氏によるライブペインティングで描かれた絵が講演の最後に披露され、会場全体が温かい空気に包まれました。

【参加されたＰＴＡ会員の皆様方の声】

●障がいのある子どもを育てる親御さんの声、そして兄弟児の声をなかなか聞く機会がないので、今回の研修で聞くことが出来て良かったです。宏介さんのライブペインティングも素晴らしかったです。

●お母様の勇気ある決断にただただ感動しました。もし自分だったらここまで出来たでしょうか。ただ親亡き後、本人が一人でどう生きていくか、これは永遠のテーマです。

●大変貴重なお話をありがとうございました。私も子どもの太陽となって、子どものこれから先未来への道を照らしていける存在でありたいと思います。

●絵がどんな風に出来るのか楽しみに見てましたが本当に素晴らしい作品でした。講演会も宏介氏が育ってきた環境等が細かく話をされていて家族の苦労や愛情を知ることが出来ました。

【参加者数】233人　【アーカイブ配信視聴者数】102人

11/29 PTA啓発研修大会

時間：10時～
会場：中央市民センター
講師：白駒 妃登美 氏

幼いころから歴史や伝記の本を読み、「博多の歴女（レキジョ）」として多くのTV番組にも出演されている白駒妃登美さん。今回も、歴史のエッセンスを交え、幸せを感じる生き方へのヒントをお話しくださいました。

お子さん2人が小学生の時に患った子宮頸がんは、治療を続け完治したと思っていたところ肺に転移。重症であると診断されます。診断後は夜も眠れない毎日を過ごしていましたが、同時期に出版社からのオファーがあり、自分のこれまでの軌跡を本にまとめることを決意。資料として歴史の本と向き合ううちに、これまでの日本人の生き方や、歴史上の偉人たちの生き方に気付かされることに。

「今を受け入れて、この瞬間に最善を尽くす。ご縁のある方を笑顔にしたい」

これまでやこれからの不安を見つめるのではなく、最期まで志を持って生きたい、と考えを改めた後、肺に転移していたがん細胞が画像から消えてなくなるという奇跡のような出来事が。

その後、5年間の抗がん剤治療を終え、元気でいられること、たくさんの人に励まされて元気をもらえたことは、一人の力では成し得なかったことで、感謝すべきことだと語られました。

また、感謝を伝えられた人は喜びを感じ、自分の存在が誰かの支えになったとき、幸せを感じると仰います。小さなお手伝いでも、感謝を伝えるだけでお子さんは幸せを感じるとのことです。

息子さんが部活動でチャンスをなかなか手にできなかった時には、武道に見られる道徳的な考え「内面を磨く・高みを目指す」を伝えられました。これは心を磨き上げ自分の生き方を磨き上げることで、それが誰かの支えになり、自分も幸せを感じることに繋がります。

白駒妃登美さんは大きな転機で幸せに生きることへの気づきを得られました。それを私たちに熱く語られ、質疑応答では会場からいくつもの熱い感想が伝えられていました。

ふくおか

発行所
福岡市中央区舞鶴
1丁目4番13号
福岡市舞鶴庁舎6階

発行人
会 長 岡村耕二
広報委員会

福岡市PTA協議会
ホームページ
http://www.fukuokacity-pta.jp
福岡市PTA　検索

印刷㈱西日本新聞プロダクツ

目次

01 | 令和5年度　特別支援教育啓発研修会
11/29 PTA啓発研修大会

02 | 令和５年度　PTA活動活性化推進事業

03 | 令和５年度　三P協主催事業
第３回「学ビバ！FUKUOKA」2023北九州大会

04 | 令和5年度各種表彰受賞合同祝賀会
福岡市大会大会シンボルマーク募集
モニターアンケート／編集後記

令和5年度　PTA活動活性化推進事業

内野小学校PTA

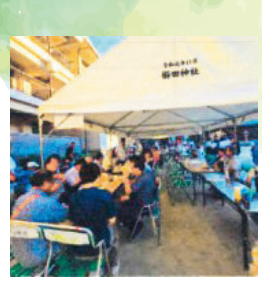
実施日：令和5年10月28日(土)
事業名：「うちのスマイルフェスタ」

実施内容：子どもたちから募集した意見を参考に、食フェス、遊フェス、スポーツフェスの3部門に分けてイベントを開催しました。食フェスは、運動場に立てたテントや、地域の飲食店にご協力いただいたキッチンカーにて、ハンバーガー、たこやきなどを販売しました。遊フェスでは、射的やスーパーボールすくいをしたり、地域の消防団や駐在所の方のご協力で消防車やパトカーなどを展示することができました。スポーツフェスでは、ボッチャやスタンプラリー、また5年生，6年生によるドッチボールのクラスマッチなどをしました。10月ということもあり、ハロウィン仕様の看板を作成したり、仮装をしたりして、子どもたちも楽しんでいました。

博多中学校父母教師会

実施日：令和5年8月6日(日)
事業名：「博多町家ふるさと館開館記念夏まつり」

実施内容：閉鎖的だったコロナ禍を経て4年ぶりに、博多独自の地域性を活かしながら、学校と地域を繋げる事業として、博多町家ふるさと館との共催により、夏まつりを開催しました。保護者や地域の方々や学校関係者はもちろん、観光客や世界水泳関係者など、様々な方が訪れました。当日は大変暑い中ではありましたが、体調不良になったり怪我をした方はおらず、また地域と学校とのさらなるネットワーク強化につながるイベントとなりました。



今津特別支援学校PTA

実施日：令和5年10月31日(火)
事業名：「今津わくわくフェスタ」移動水族館・移動博物館

実施内容：本校の児童生徒の学びや体験の場として、また保護者同士、地域の方々との交流の場として、「今津わくわくフェスタ」を開催しました。移動水族館・移動博物館では、タッチプールで水の中の生物に触れたり、水生生物等の骨格標本を見たりすることができ、子どもたちに有意義な学習の機会を提供できました。水族館や博物館などの社会教育施設に行く機会が少ないので、水生生物等に触れ合うなど、肢体不自由児にとって、日常ではできない体験ができました。参加した児童生徒のたくさんの笑顔を見る事ができました。

賀茂小学校PTA

実施日：令和5年10月7日(土)
事業名：「金屑川をきれいにして、そこに住む生き物を知ろう」
金屑川クリーンアップ大作戦

実施内容：参加者全員で金屑川に入り10袋程度のゴミを拾いました。ゴミ拾い終了後は、川で生き物採取を行い、体育館に運びました。そこで、講師の亀井裕介氏（やながわ有明海水族館館長）から、採取した生き物についての説明や魚が住める川の環境についての講話があり、「金屑川はとても綺麗な川。絶滅危惧種が3種類生息しています。とてもよい環境なので、この状態を守りましょう」と教えていただきました。

今回のイベントを通して、生態系を学んだり、それが自分たちの命に繋がっているということを感じることができました。

コラム

福岡市立老司中学校
校長　中川　法文

理想の大人…

ご家庭で、「理想の大人ってどんな人？」とお子さんにたずねてみてください。子どもから見て、保護者や先生等、身近な大人の姿が輝いて見えていたら、「あんな大人になりたい」「あの職業に就きたい」と思うでしょう。続けて、「○○先生の良いところは何？」と声をかけてみてください。きっと笑顔で「こんなところ！」と答えてくれるはずと期待します。

さて、職場で「先生は、なぜ先生になったの？」と質問すると、「授業をやりたかった」「学級をもちたかった」「部活動をやりたかった」等々、答えは様々ですが、「学生当時の先生に憧れた」という理由は多いようです。当時の生徒にとって、先生がいかに魅力的な存在に見えていたのかを表しています。

子どもたちは、身近な大人が楽しそうに時間を過ごせているのか、そうでないのかを、鋭く見抜いていると思います。「家族といることが楽しい」「仕事や仲間って、楽しそう！」「先生たちが仲良さよう」と感じている子どもは、すてきな大人の継承者となる可能性を、大いに秘めているのではないでしょうか。

大人が、与えられた一日一日を大切に過ごし充実させることが、子どもの豊かな未来につながるとすれば、何と素晴らしいでしょう。

令和5年度
三P協主催事業
第3回「学ビバ! FUKUOKA」2023
北九州大会

少々風が強く大会旗がバタバタたなびく中、「学ビバ福岡北九州大会」は、前半はヒロック初等部の蓑手章吾氏の講演、そして途中からスザンヌさんが合流し、2人の対話形式となって進行しました。

まずは前半の講演ですが、ある問いかけから始まりました。「皆さんは、子どもの事を誇りに思えますか?」。軽く意表を突かれた気がして自分を振り返ってみると、誇りには思っているはずだが、知人との会話では親の世間体に子どもを付き合わせる発言になっていないか?と我を省みる良い機会になりました。また、ヒロックを知った事で、より大らかにゆったりと教育に臨めるようになった気がします。

そして、後半からはスザンヌさんが登場です。テレビでお見受けする印象そのままで、とても柔らかな口調ではあるものの、しっかりとした芯をお持ちの方だと感じました。ご自身の経験を踏まえて「分かったフリをしても全然進まない」「分からない事を認めて素直に人に聞く」と発言されたのが印象的で、これらは、どの分野においても、そしてきっとどなたにも当てはまる一生のテーマではないでしょうか（ちょっと大げさですが…）。

講演後の質疑応答の時、蓑手氏の著書を読んだ事がある方から「失敗は宝物」と言うフレーズに感銘を受けた、という旨の発言がありました。これを聞いて、私は「失敗は成功のもと」ということわざが頭に浮かび、やはり失敗を恐れず何事にもトライする気持ち重要だと再認識したものです。

今、「失敗」と記しましたが、蓑手氏によると、某ゲームで試合に負けた時、日本では「You Lose」となるが、アメリカでは「Nice Try !」だそうです。子どもたちには何事にも挑戦する事を促したいとは思いますが、うまくいかない事の方がはるかに多いでしょう。その時には、心から「ナイストライ!!」と言ってあげたいと思います。

名島小学校PTA会長　境　浩一郎

福岡市ＰＴＡ協議会　小・中学生総合保障制度のお知らせ　安心してお子さまをご養育いただくために

「小・中学生総合保障制度(こども総合保険)」

お子さまの「ケガ」「育英費用」やご家族の「個人賠償責任」などを補償します。

この制度の詳しい内容はこちらからも確認いただけます。
AIG損害保険株式会社『お子さまのための総合保障制度』https://riskfinder.jp/school/

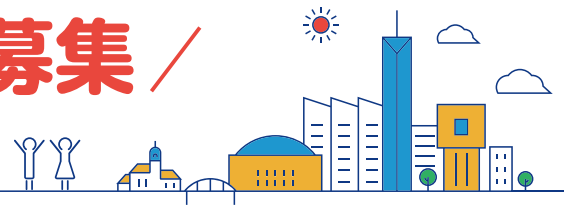
（学校内のケガの場合、「独立行政法人　日本スポーツ振興センターの災害共済給付制度」の給付とは関係なく補償されます。）

※保障制度の詳細につきましては、取扱代理店にお問い合わせください。
●制度に関するお問合せ先：取扱代理店　株式会社コーリン（福岡市ＰＴＡ協議会保障制度事務局）　ＴＥＬ：０１２０－２２８－５５３（通話料無料）（受付時間：平日午前9時～午後5時 土・日・祝日、年末年始を除く）
●制度引受保険会社：ＡＩＧ損害保険株式会社 東京海上日動火災保険株式会社 損害保険ジャパン株式会社 三井住友海上火災保険株式会社　Chubb損害保険株式会社

［令和6年度版:S-240412(2025-01)］

第70回日本PTA九州ブロック研究大会 福岡市大会

大会シンボルマーク 募集



2025年（令和７年）10月に福岡市で開催する「第70回日本ＰＴＡ九州ブロック研究大会福岡市大会」の大会シンボルマークを募集いたします！

日本ＰＴＡ九州ブロック研究大会は、九州・沖縄各県より約6,000名が集い・学ぶＰＴＡの研究大会です。

応募期間 **2023年12月22日(金)～2024年3月29日(金)**

【募集内容】
大会シンボルマーク
開催地である福岡市をわかりやすく表現したマーク

【応募資格】
福岡市立小学校・中学校・特別支援学校に通う児童・生徒

【応募方法】
応募は、専用応募用紙に必要事項を記載し、郵送にてご提出ください。
案内チラシや応募用紙は、福岡市ＰＴＡ協議会のホームページのＰＴＡチャンネル「大会シンボルマーク募集について」よりダウンロードできます。

「大会シンボルマーク募集について」
ＱＲコードからもアクセスできます

モニターアンケート

- 不登校の子どもたちの悩みや質問などを詳しい情報とともに掲載してほしい。
- ふようのデジタル化を強く望む。
- 教育問題の予算要望を詳しく知りたい。

多数アンケートありがとうございます。
今後も様々な意見や感想を広報委員のなかで検討し反映できるようにします。

編・集・後・記

この度は広報委員の編集後記をお任せいただき、大変嬉しく思います。

私たち広報委員は、情報発信を通じて学校の魅力や活動を伝える役割を担っています。今回の編集では、特に重要な情報を分かりやすく伝えることに力を注ぎました。

何がどこでどのように行われたのか、お伝えできる事を全力で発信していきたいです。

坂本孔明

令和5年度 各種表彰受賞合同祝賀会

令和６年2月８日（木）西鉄グランドホテルにて、令和５年度に各種表彰を受賞されました団体および個人のみなさまをお招きし、祝賀会を開催いたしました。

令和５年度　各種表彰受賞一覧（敬称略）

優良PTA文部科学大臣表彰

【団　　体】 福岡市立松島小学校PTA
福岡市立西陵小学校おとなの会

PTA活動振興功労者文部科学大臣表彰

【個　　人】 西方　俊司　　西村　早苗

福岡県教育文化表彰

【団　　体】 福岡市立横手小学校PTA
福岡市立福岡中央特別支援学校PTA

PTA活動振興功労者知事表彰

【個　　人】 西方　俊司　　中沢　亘　　辻　宗志　　波多江真一

公益社団法人日本PTA全国協議会会長表彰

【個　　人】 力丸美和代　　中沢　亘　　波多江真一　　坂元ゆかり
【個人特別】 立木　春香　　大塚かおり　　白水　陽介　　禅院　幸子
西田　幸次　　廣田　満　　宮路　亨　　宮崎　仁恵
叶　俊信　　平原　義紀

全国小・中学校PTA広報誌コンクール表彰

【写真賞】 福岡市立照葉小中学校PTA

九州ブロック協議会会長表彰

【団　　体】 福岡市立三宅小学校PTA　　福岡市立春住小学校PTA
【個　　人】 奥田　博子　　蒲池　貴子　　坂本　由紀　　豊澤絵里奈
元永　顕雄
【感 謝 状】 波多江真一　　坂元ゆかり　　森　泰清

九州ブロックPTA協議会主催きらりと輝く九州人大賞（個人・推薦団体）

【九州ブロックPTA協議会会長賞】 山本　佑治（福岡市立青葉小学校PTA）
【福岡市ＰＴＡ協議会会長賞】 安藤千津代（福岡市立柏原中学校PTA）
内田富美子（福岡市立当仁中学校PTA）
立木　好裕（福岡市立春住小学校PTA）